

試合会場レポート

[試合番号]特設 1

[開催日]2011/6/26

[会場]ひたちなか市総合運動公園総合体育館

[観客数]1500

[開始時間]13:01

[終了時間]13:53

[試合時間]0:52

[主審]松代 寛

[副審]高橋 直也

[記録員]古谷 潤

男子：決勝戦

霞ヶ浦高等学校

監督：岩崎 匡史

コーチ：

2	29	第1セット 【0:27】	27	0
	25	第2セット 【0:22】	20	
		第3セット 【 : 】		

土浦日本大学高等学校

監督：福田 誠

コーチ：吉田 達也

【 】内はセット時間

戦評

関東大会茨城県予選会の準々決勝では、同じ対戦カードで霞ヶ浦高等学校がフルセットの激戦の末、関東大会出場を決めている。土浦日本大学高等学校は新入生の成長で大きく力を伸ばし、常勝霞ヶ浦の牙城を崩せるか。

第1セット序盤、霞ヶ浦はセッター10 番須藤の速いトス回しで5-1とリードを奪い、土浦日大は1回目のタイムアウトをとった。しかし土浦日大も10番富田が霞ヶ浦の4番北島、2番金久保を連続ブロックし、8-7と逆転して霞ヶ浦も1回目のタイムアウトをとった。その後は霞ヶ浦の11番大森、土浦日大の5番田口、両りベロの元気なプレーが試合を盛り上げ、一進一退の攻防が続いた。その後、霞ヶ浦がピンチサーバー8番小澤を投入、土浦日大もピンチサーバー7番大武を投入、共に流れを作ろうとするが両チーム譲らない。終盤、土浦日大のサーブレシーブが崩れ、20-22となったところで土浦日大が2回目のタイムアウトをとった。立ち直った土浦日大はエース4番國府田が最後に踏ん張り、再三のブロックアウトやライトからの強烈なスパイクでついに24-23と逆転でセットポイントを握った。しかし粘る霞ヶ浦も北島のレフトスパイク、1番植竹のブロックで28-27とセットポイントを奪い返す。最後は土浦日大にミスが出てしまい、終始落ち着いた試合運びをした霞ヶ浦が29-27で第1セットを先取した。

第2セット、サーブレシーブが安定してきた霞ヶ浦が、立ち上がりから5-2とリードを奪う。土浦日大は國府田にボールを集め7-7と追いつがるが、霞ヶ浦は北島の緩急をつけた攻撃や5番大山のAクイックが連続で決まり、10-7とリードしたところで土浦日大が1回目のタイムアウトをとった。中盤は霞ヶ浦にコンビミスが出て一時土浦日大が14-15まで追いついた。その後、霞ヶ浦は小澤がピンチサーバーで登場し、18-14とリードが広がり土浦日大はたまたま2回目のタイムアウトをとった。安定したサーブレシーブでサイドアウトを確実にとる霞ヶ浦に対して、土浦日大も必死の戦いをする。しかし最後は霞ヶ浦植竹がレフトからのスパイクをねじ込んで25-20でこのセットも奪い、霞ヶ浦が4年連続8回目のインターハイ出場を決めた。